

令和7年度 東山開晴館 学校経営計画

1 学校教育目標

■最高教育理念

「澄みゆく心」「かがやく志」の育成

■校 訓

克己 進取 礼節

■教育目的

未来を創造し、たくましく生き抜く力の育成

■めざす子ども像（卒業時点）

挑戦的に学ぶ姿

卑怯を許さない姿

つながりを喜びとする姿

以上3つ姿の実現

■めざす学校像

- (1) 人権文化にあふれ、一人一人が大切にされ、安心して自分らしく過ごすことができる学校
- (2) 「社会で許されないことは学校でも許されない」という、社会規範に照らした指導を実践する学校
- (3) 義務教育学校のよさを最大限に活かし、豊かなつながりのあふれる学校
- (4) 課題意識と探究心を持ち、社会を生き抜く子どもを育てる学校
- (5) 持続可能でウェルビーイングな社会を創造していくことのできる子どもを育てる学校

■めざす教職員像

- (1) 教育者として崇高な使命感を持ち、社会的な責務を常に自覚した行動がとれる教職員
- (2) 自らの姿を通して子どもに生き方を教える、子どものモデルとなる教職員
- (3) 「めざす子ども像」の実現に向けて、自ら明確なビジョンを持ち、主体的、協働的に学校経営に参画する教職員
- (4) 学ぶ意欲にあふれ、常に自らの専門性の向上を目指して成長する教職員
- (5) 愛情と慈しみの心を持って子どもたちに接し、未来の人材を育成するという信念を持つ教職員

2 学校経営方針

1 基本方針

昨年12月の文部科学大臣による諮問には「自分の考えを持ち、根拠に基づいて他者に明確に説明すること」に課題があると記されているが、本校児童生徒においても同様の傾向がある。したがって、今年度も育成したい資質・能力を「発信力」とし取組を進めていく。またVUCAの時代において、子どもが自分や社会の課題に目を向け、課題解決に向けて主体的に行動していく力を育成するために、総合的な学習の時間「東山探究」のさらなる充実を図る。

また、子どもが将来にわたり豊かにたくましく生きていくためには、**非認知能力**を身に付けることが大変重要であり、そのために、施設一体型小中一貫校の特性を十分に生かした教育活動を組織的に進めていく。

2 重点項目

1. 子どもの学力向上めざす。そのために「主体的・対話的で深い学び」及び「個別最適な学びと協働的な学び」の実現に向けた授業改善を進める。また、児童生徒の状況に鑑み、適切に家庭学習が進められるよう手立てを施す。
2. 課題解決力を身に付けさせるために、総合的な学習の時間「東山探究」の充実を図る。
3. 非認知能力をはぐくむために、施設一体型義務教育学校の利点を生かした小中のつながりを重視した取組を一層充実させる。
4. デジタル学習基盤をよりよく活用できる力を養い、社会に参画しようとする態度を育てる。
5. 各種調査の結果や質問紙・アンケート・学校評価などの分析により児童生徒の変容を確認、共有し、本校が抱える教育課題を明確にした上で取組を進める。
6. 外部人材を積極的に活用するとともに、カリキュラム・マネジメントについての研究を積極的に進める。
7. より良い集団の形成を図る観点から、児童生徒会活動の活性化を進める。そこでは、児童生徒が自他を尊重し、協働的な自治集団づくりを行うとともに、自主的な活動や自己実現を保障する場とする。
8. 日々の観察や情報収集を通して、子どもたちの困りを的確に把握し、個に応じた支援を積極的に図っていく。また、学校に来にくい子どもの居場所づくりを組織的に行う。
9. 児童生徒の生活のあり様を把握し、健康増進や「生命」を大切にする教育を推進する。
10. 「めざす子ども像」「めざす学校像」「めざす教職員像」を達成するために、報告・連絡・相談を密にする中で教職員の意識改革を図るとともに、ミドルリーダーを中心とした創造的、組織的な学校運営を推進する。
11. 働き方改革の観点から、行事の精選をはじめとする教育活動の見直しを進めるとともに、義務教育学校ならではの強みを生かした教育を提供する。